

ゆいっこハウス開催報告

Vol.4 下永沢地区の皆さん

当日の講師、サビナさんとジロラさんはウズベキスタンの大学で日本語を専攻され、5か月前に来日して、現在盛岡に在住されております。

日時：3月21日（火）10:00～11:00
場所：中央生涯教育センター 参加者：19名
主催：金ケ崎町社会福祉協議会 共催：当協会
講師：サビナ サガトヴァさん
ジロラ ラジャボアさん
（出身）ウズベキスタン



ウズベキスタンの紹介をスクリーンに投射しながら2人で交互に説明してくれました。陶器の人形、タンディールと呼ばれる伝統的なかまどで作ったナン（これが巨大で一つ2kgもあるそうです）をはじめとする食事。その他伝統楽器、赤ちゃん用のベッドなどいろいろな生活にかかわる事柄で、お持ちいただいた帽子やスカーフ、うちわなど実際に手に取って見せていただけました。

最後にダンスまで披露していただき中身の濃い勉強会になりました。

たぶん一生懸命資料を手作りし発表の練習をしたと思われる内容でした。

サビナさん、ジロラさんに感謝です。



【平成29年度】

国際交流関係団体連絡会議 参加報告

日時：3月9日（金）13:30～16:15
主催：岩手県国際交流協会
会場：いわて県民情報交流センター

全体会 県協会からの来年度事業予定紹介に続き、出席団体から寄せられた話題提起による意見交換会がありました。組織の後継者や運営の問題について、また外国人観光客の増加に対する対応などについて意見交換がされました。各団体の運営形態は様々であるため、他団体のやり方をそのまま当てはめることは難しいものの、お互いにそれぞれの方法を知ること、自団体の運営に役立てることができると思います。

講演 「地域づくりと国際交流 ～岩手の一層の国際化に向けて～」

総務省自治行政局国際交流協会室長（前岩手県総務部長） 風早 正毅 氏

戦後の在留・訪日外国人数や出身国内訳の変遷、それに対する総務省の取り組みの紹介がされました。総務省として戦後行われてきた国際交流の取り組みは、'90年代から国際協力に変わり、更に2000年以降は多文化共生へと変わって来ました。在留外国人に対しどのような支援が必要かのプラン策定や災害時の対応、各地で行われている具体的な取り組み等をご紹介いただきました。